

## 70章 諸々の高み (アル・マアーリジュ)

[70:0] 慈愛深き慈悲深い神の御名において

[70:1] 質問者が逃れることのできない天罰について質問するかもしれない。

[70:2] 不信者たちに関しては、誰もそれを止めることはできない。

[70:3] 至高の高みを所有する**神**から。

[70:4] 天使たちは、かれらの報告書を持って一日が50万年に相当する時間をかけて彼のもとへ登って行く。

[70:5] だからあなた方は慈悲深い忍耐力に頼るべきである。

[70:6] かれらにとってそれは遠くに見える。

[70:7] ところが一方、私たちにはそれはとても近くに見える。

[70:8] 空が溶けた石のようになる時、その日が来るであろう。

[70:9] 山々はふわふわした毛のようになるであろう。

[70:10] 自分の良き友を気にかける友はいない。

[70:11] かれらがかれらを見る時、罪ある者は、その日の天罰から逃れるために、かれの子どもたちを身代金として差し出せたらとのぞむであろう。

[70:12] かれの配偶者、そしてかれの彼の兄弟も。

[70:13] かれを育てたすべての部族さえも。

[70:14] もしかれを救えるのならば、地上のすべての人々さえも。

[70:15] いいえ、それは燃え立っている。

[70:16] それは焼きたがっている。

[70:17] それは拒否した者たちを呼んでいる。

[70:18] 退蔵し、数えていた者たち。

[70:19] まことに、人間は不安になりやすい存在。

- [70:20] もし不幸が触れると、落胆する。
- [70:21] もし富に恵まれると、ケチになる。
- [70:22] 崇拜者たちを除て。
- [70:23] 交信の祈り（サラット）いつも遵守する者。
- [70:24] かれらのお金の一部は別にしてある。
- [70:25] 貧しい者たち、必要な者たちのために。
- [70:26] かれらは最後の審判の日を信じている。
- [70:27] かれらは、かれらの主の報いを崇敬する。
- [70:28] かれらの主の報酬は、当たり前的事とは考えない。
- [70:29] かれらは純潔さを守る。
- [70:30] かれらの配偶者のみ（関係を持つ）、又は法的にかれらの者だけ。
- [70:31] 誰でもその限界を違犯する者は罪人である。
- [70:32] そして信者たちは、かれらの約束を守り、信頼できる者たち。
- [70:33] かれらの証言は真実である。
- [70:34] かれらは首尾一貫として、時間どうりに交信の祈り（サラット）遵守する。
- [70:35] かれらはパラダイスに、敬意ある位置を受けるにうさわしい。
- [70:36] 何が不信した者たちをあなたに加わることから妨げているのか？
- [70:37] 右へ、左へとかれらは逃げる。
- [70:38] かれらうち誰が、無上の喜びのパラダイスへ入れると期待できるというのか？
- [70:39] 決してそれはない。私たちがかれらを創造した、そしてかれらは自身が何から創られたかを知っている。
- [70:40] 私は、二つの東と二つの西の主として厳肅に誓う、私たちは一
- [70:41] あなた方の場所に、より良い人々を置き換えることができる、私たちは決して負けることはない。

[70:42] だから、かれらが、かれらを待ち受けているその日に会うまで、かれらに大間違いをさせ、遊ばせておけばよい。

[70:43] その日、かれらは祭壇（のいけにえ）に群がるように、急いで墓から出てくる。

[70:44] かれらの目は伏せられ、恥がかれらを覆うであろう。それがかれらを待っているその日である。

=====

この章までの**神**の累積回数＝

2 6 4 5

この章までの**神**がでてくる節の番号の累積合計＝

1 1 7 5 2 8